

長崎大学生生活協同組合

今回発行する長崎大学環境報告書の報告対象の組織には、長崎大学生生活協同組合は含まれていません。しかし、長崎大学の敷地内で、食堂・購買部等の営業活動を展開している利害関係者であり、環境配慮の取組を進める上で、最も重要な事業者であるといえます。従って、今後も緊密なコミュニケーションをとり、長崎大学と一体となって、その活動状況を学外に報告することが重要であるという観点から、この章に、生活協同組合のページを設けるといふこととしました。

幸い、本学生生活協同組合は、ISO14001の認証取得を2004年1月に行い、下に示した環境方針の基に、いち早く、環境活動を進め、成果をあげつつあります。なかでも、学内のゴミ削減と環境保全のために、2005年1月17日より生協オリジナルの弁当容器のリサイクルを「デポジット方式」で始めました。全国的にも新しいこの活動は注目を集め、現在は、弁当容器、紙コップにも、この方式が拡大し、他大学の生協へもその活動の輪が広がっています。



長崎大学生生活協同組合はISO14001の認証取得を2004年1月に行い、環境方針の基に環境活動を行っています。

【環境方針】

長崎大学生協は、組合員の意志によって作られました。長崎大学生協の役割は、協同互助の精神に基づき民主的運営により組合員の生活の文化的経済的改善向上を図ることを目的としています。

環境保全活動が商品、サービス、及びすべての活動の基礎的な取り組みであると認識し、可能な範囲において、目的・目標を設定し、見直す仕組みを与え、環境保全活動を以下のとおり、継続的改善と汚染の予防を推進します。

- (1) 環境関連の法規制、条例、その他受け入れを決めた要求事項を遵守します。
- (2) 長崎大学生協文教キャンパス施設において、電気・ガス・紙・水の使用量削減、廃棄物の削減、リサイクル活動をすすめます。
- (3) 環境保全活動を推進するため、環境マネジメント推進組織を整備し、全職員が活動できるようにします。
- (4) 内部環境監査を実施し、自主管理による環境マネジメントシステムの維持向上に努めます。
- (5) 環境教育、内外の公表を行い、全職員の環境方針の理解と環境に関する意識の向上を図ります。

環境方針はパンフレットなどを作成し、長崎大学生協内外に広く公表します。

2005年10月17日

長崎大学生生活協同組合 専務理事 山下 毅

弁当容器のデポジット

組合員のみなさんをご存知でしょうか？長崎大学生協では学内のゴミ削減と環境保全のために2005年1月17日より生協オリジナルの弁当容器のリサイクルを「デポジット方式」で始めました。現在は井メニューの容器のみですが、順次回収する弁当容器の種類を増やし、その都度みなさんに報告させていただきます。

☆デポジットの手順☆



容器代を付加して販売します。



お弁当を食べ終わったら…



内側のフィルムは剥がしてゴミ箱へ



容器代10円が返却されます。



白い部分だけレジに返却すると…

デポジット方式とは？

380円で販売している井メニューに容器代として10円付加して購入していただきます。この10円を、容器をレジに返却していただくことによって返却する制度です。返却された容器はリサイクル工場に運ばれ、新しい容器に生まれ変わります。

容器が回収されず、返却されない容器代はどうなるのですか？



組合員

売り上げとは別で管理しています。そして主に、環境活動のための資金として利用しています。その使い道については生協理事会で検討し、随時組合員の皆さんに報告します。



生協

この他にも長崎大学生協では様々な環境のための活動をしています。その中でも全国的にも新しい活動がこの弁当容器のデポジットなのです。組合員の皆さんにはその活動を知っていただき、協力していただきたいと思います。

知って長大、見てちょうだい・05年夏号より

出張・一人旅を安心サポート。もちろん週末の家族旅行もおま

マナー | 住まい | IT | 旅行 | クルマ | 女性 | しごと | エンタメ | 読書 | ワイン | 写真
記事検索 半年分無料 YomyClub クイズでPC当る どんな新聞? 紙面紹介
天気 地図 English サイト案内 イベント 新聞購読 読売新聞へようこそ

地域情報とニュース

TOP > 地域情報とニュース > 長崎 > ニュース

文字サイズ: 十一

ニュース

弁当容器をリサイクル 長崎大生協がデポジット制導入

長崎大生協は十七日、学内の売店で販売している弁当容器を対象としたデポジット制度を導入した。環境のために容器をリサイクルすることが目的で、昨年春から学生や県などと検討してきた。九州の大学生協では初めての試み。

井をこれまでより10円高く売り、容器を返却した人には10円を返す。洗う手間を省くため、容器には薄いビニールが張っており、それををはがすだけでいいようになっている。生協前には制度について説明した看板が登場し、レジには返却された容器を入れる場所も用意された。

ゴミの分別などの環境対策と違い、消費者自身に経済的負担がかかることが特徴。同大環境科学部の姫野順一教授は「リサイクルにはお金がかかるということを実感し、意識を高めてくれれば」と話している。

今後は弁当の容器やペットボトルも対象にする方針で、周辺地域に取り組みの輪を広げていくことも検討している。

購読申し込みもインターネットでどうぞ

広報用ポスター

デポジット方式で! 1/17(月)~ 弁当容器のリサイクルスタート

長崎大学生協では学内のゴミ削減と環境のために生協オリジナル弁当容器のリサイクルを始めます。スタート時は「井メニューの容器」のみですが順次、種類を増やしていきます。

具体的にデポジットとは?
今、井メニューは380円ですが容器代として10円負担し、390円で購入頂きます。食事が終わりましたら内側のフィルム剥がして生出しジまでお持ちください。容器代の10円を返金致します。紙コップの自動販売機と同じ考え方で。

お弁当を食べ終わったら 内側のフィルムは剥がし ゴミ箱へ 白い本体のみレジに返却してください

返金されない容器代はどうなるの?
お店の売上げと別枠で管理させて頂きませ。定期的に組合員の皆さんに報告致します。生協理事会で判断させて頂き環境活動の資金として利用致します。

回収された容器はリサイクル工場に送り届けられ、シートに生まれ変わります。P&Pレー 70%以上

長崎大学生協同組合



スタートから1年の現状は

- 2005年2月までの累計で27.5%の回収率 (店舗別にも異なる)
- 年度末は回収率が高くなる (まとめて返却する上級生や先生方)
- 認知度が低い、利用者が限られている

その他の具体的活動

● 電気使用量の削減

2005年度は2003年度比約10%の削減を達成しています。

● ガス使用量の削減

2005年度は2003年度(5月～翌2月)との比較では、約10%の削減を達成していますが、2004年度との比較では、11%の増加でした。

● コピー用紙利用の抑制

2005年度の実績は、2003年比約30%の削減を達成しています。

● ちらし・パンフ類の廃棄削減

2005年度は、廃棄量の把握期間から、実際に不要なパンフレットの削減の段階にはいりましたが、廃棄量の把握が十分でなく今後の見直しが必要です。

● 弁当容器のリサイクル

2005年3月～2006年2月の回収状況は、累計で、回収率28%でした。回収率アップのために、組合員への周知活動を強める必要があります。

この弁当容器回収は、2006年3月より、生協オリジナル弁当の全品目へ拡大し、また、大学生協九州事業連合に加入するすべての大学生協での取り組みへ広がっています。



● その他

- ・ペットボトルリサイクルシステムの運用
- ・飲料自動販売機、紙コップのリサイクルシステムの運用は1998年からはじめていますが、回収率は7割とほぼ定着しています。



- ・生協事業から排出される段ボールのリサイクルシステム運用
- ・学園祭実行委員会への食器貸し出し(使い捨て紙皿等を使用しない)
- ・レジでの簡易包装
- ・環境に配慮した文具等の販売活動
- ・生協機関誌での環境活動推進広報活動

環境報告書は以下のHPをご覧ください。

(<http://hal.seikyoku.ne.jp/home/nuc/environment.pdf>)